

浅井 葉子 議員



学校への安全対策として 門扉と防犯カメラの設置を

問

小中学校の安全対策について尋ねる。

- (1) 門扉がない十四山地区小中学校への設置。
- (2) 全小学校への防犯カメラの設置。

できるところから
設置していきたい

答 教育課長

- (1) 18年に東部小の給食通門に設置。東部小、中学校は市施設と併設のため設置が難しいが、できるところから設置していきたい。
- (2) 門扉と同様に順次設置を考えていきたい。

問

小中学生の保護者を対象に行われる不審者情報等のメール発信事業を、一般市

民に拡大してはどうか。

答 教育課長

今後は防災安全課と横の連携をとりながら調整を図っていききたい。

AEDを全小学校に
設置してはどうか

問

AED(心臓停止時に除細動を行う機器)について尋ねる。

- (1) 全小学校への設置。
- (2) 各種行事への貸し出し事業を行う考えはないか。
- (3) 市施設の設置場所を、市民がいつでも使える屋外に変更する考えはないか。

20年度に全小学校
に設置をしたい

答 教育課長

- (1) 19年度に全中学校に設置し、小学校は20年度に設置をしたいと考えている。

答 社会教育課長

- (2) 今後、各大会に貸し出しできるように購入を考えていきたい。

- (3) 他市町村の動向を見ながら、関係課とも調整し考えていききたい。

問

県は19年度から、子どもや保護者、妊婦がカードを提示し、各協賛店舗で特典等を受ける「子育て家庭優待事業」を始めるが、どのように考えるか。

答 商工労政課長

協賛店舗の優待策や店舗の有無等の問題もあり、効果には期待するものの、関係各課と連携し、研究していきたい。

問

災害時、市外でも情報入手ができるよう、携帯電話等に情報を発信してはどうか。

答 防災安全課長

導入済みの市町村を参考

にして今後研究していく。

火災報知器の設置
義務化に伴う対応は

問

平成20年6月施行の火災報知器の設置義務化について尋ねる。

- (1) 老人日常生活用具給付事業で、ひとり暮らし高齢者に火災報知器が給付されているが、高齢者のみの世帯に対象を拡充する考えは。
- (2) 同様に障害者世帯にも給付事業があるが、設置個所は義務化により複数になる。今後の対応は。

前向きに検討して
いきたい

答 民生部長

- (1) 前向きに検討していきたい。

- (2) 原則としては法的な場所ということになるが、今後検討する。